

「わが家の備え」は万全ですか



問い合わせ先 / 市役所危機管理課災害対策係 ☎76-8127

明日起こるかもしれない「南海トラフ地震」、その他にも台風や大雨など、いざというときに自分や家族の命を守ることができるのは自分たちしかいません。9月1日の「防災の日」に合わせて、「わが家の備え」を確認しましょう。

01 危険度を知ろう

ハザードマップなどで、自宅や職場、学校の想定震度などを確認してみましょう。各種マップはホームページ(下記二次元コード)で確認することができます。



防災ガイドブックや
防災アプリでも確認
できます



ガイドブック アプリ

02 避難先を考えておこう

避難先はどこか、どこに家族で集合するか話し合しましょう。親戚や知人宅へ避難することも考慮して確認しておきましょう。

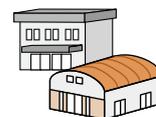
- ①在宅避難
- ②縁故避難
- ③避難所避難



安全な場合は
自宅で



知人宅など
安全な場所へ



危険な時は
避難所へ

避難所におけるコロナ対応



03 安否確認方法を知っておこう

災害時には電話やメールが繋がりにくくなることも想定し、災害伝言ダイヤル「171」など、災害用伝言サービスの使い方を確認しておきましょう。

災害伝言ダイヤル「171」

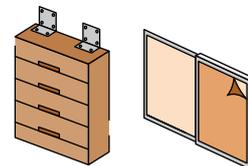
伝言録音は
171⇒1をプッシュ

伝言再生は
171⇒2をプッシュ



04 家具の配置などを見直そう

地震発生時に家具が転倒しないよう、配置を見直し、しっかりと固定しましょう。



家具転倒防止支援事業

高齢者のみの世帯や障がい者が属する世帯などを対象に作業を支援します。



05 備蓄品を準備しよう

災害時にはガス・水道・電気などのライフラインが止まることも想定して、1週間分程度の備蓄品を用意しておきましょう。



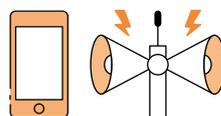
備蓄品

- 飲食料品 ● 簡易トイレ ● ガスボンベ
- 電池類 ● 衛生用品(マスクや消毒液)など



06 防災情報を手に入れよう

市ではさまざまな方法で、警報などの気象情報や避難所開設などの防災情報を配信しています。詳細は、広報おわりあさひ6月1日号をご覧ください。



いくつかの方法を組み合わせて積極的に入手しましょう。